



現地視察の報告

中国黒龍江省・吉林省及び河北省を訪問

ハルピンに幼児芸術センター落成 プロジェクトI 幼稚園建設支援プロジェクト



東北農業大学幼稚園増設園舎竣工に合わせ、JCC第一次訪中団（久保田博子・三浦正巳・三浦克子・井岡今日子・門馬宏毅）は、6月26日～7月5日の日程で、黒龍江省ハルビン市をはじめ吉林省、河北省を巡り、視察した。

皆様のご支援により増設された園舎は、当初の計画を倍増し、三階建て、床暖房付きの、白い壁に大きな窓を配した多目的ホール、オープン教室からなる立派なもの。独立して設けられた玄関の正面上には「宋慶齡基金会日中共同項目委員会援建/幼児芸術センター」と刻まれた金看板が詰め込まれていた。資金は当会が予定の500万円（支援者76名）、大学側が500万円を提出した。

竣工式は、6月27日、新園舎の玄関にて、東北農業大学秦智偉副学長・劉玉敏園長等教職員、園児・父母・地域の人々らの参加のもとに催された。大学・幼稚園側より日本の支援者の皆様への謝辞があり、

除幕とテープカットが行われ、JCC側が記念の柱時計・紙芝居（木村良夫氏寄贈）等を贈呈した後、突如鳩と色とりどりの風船が天空に舞い、歓声に包まれた。中国宋慶齡基金会より白捷副秘書長と王丹丹副主任が参加した。また、園舎の参観後、3階の多目的ホールでの園児たちの可愛いパフォーマンスに爆笑、心なごむ初めての交流を楽しんだ。劉園長から、JCCに1枚の額が贈られた。それには「一切为孩子（すべては子どものために）」と刻まれていた。

なお、この幼稚園には、JCC第3次訪中団が9月に訪問、交流する事になっている。



よるこぶ子どもたちと
地域の人々

「すべては子どもの為に」の額





長春市～吉林へ

**プロジェクトⅡ 吉林省教育支援—協定書締結
プロジェクトⅢ 寄贈図書の確認**

6月28日、ハルビンより列車で長春市に着いた私たちは、宋慶齡基金会の宋健さんと同市外事弁公室の欧頌さん、刁克さんに迎えられた。長春协会会员の三浦さんのお陰で市の協力を得て、翌29日車で吉林市に入り、ラッパと風船と「ルーリエ・ホワンイン（熱烈歓迎）」の合唱に迎えられて、三つの小学校を訪問した。



四間小学校



官馬山小学校

最初に訪れた乃子街中心小学では、永吉県教育長、校長ほか数名の関係者と懇談、当地の学校運営、児童の就学状況など説明を聞き、2001年度からの奨学金の協定を締結した。

この学校には図書室が整備されていた。97年に故木村英雄氏の援助で建設された書棚にはJCC寄贈(プロジェクトⅢ)の新しい書物が並びその傍らに同行の三浦克子さん著作の「どじょうのおやこ」が2冊取められていた。このどじょうの絵本は日中語対訳で、長春の70冊をはじめ中国各地に寄贈されているが、今回の旅でも幼稚園や小学校にそれぞれ寄贈された。

ついで、官馬山小学校、四間小学校を訪問した。子どもたちは元気で、とても可愛いが、校舎は形ばかりで、図書室の他は内外ともに教育設備・教具らしいものはほとんど見当らなかった。バレーボールやバトミントンセットをみやげにして良かったと思った。昼食の時、永吉県第7中学の趙蘊華校長が、農民の提出によって維持されている農村中学の現状がどんなに苦しく不安定なものかを懸命に訴えていたのが強く印象に残った。

図書コーナー
プレゼント



奨学生たち

河北省へ



新しい教育支援プロジェクトを 立ち上げるために 保定市易県

7月2日、久保田、井岡両名は中国宋慶齡基金会の杜愛平さんの案内で承德市興隆県に列車で赴いた。興隆では、県立図書館長の井さん、教育局主任の王さん、この二人の女性のお世話になった。

図書館は県に一つしかなく、蔵書は一万冊くらい、古く傷んでいた。山地が多いのでユニセフや宋慶齡基金会の援助で29ヶ所の拠点に移動図書館車を走らせているが新規購入の予算は取れないということである。

興隆は河北省ですでに日本人が教育支援をしている代表的な地域として参観に訪れたのである。日本山地教育振興会が建設支援した中学校校舎や寄宿舎を訪問し、当地の教育施設の状況を学習した。

7月4日早朝、王丹丹さんと一緒に北京から車で保定市易県に向かった。易県教育局長、次長の出迎えを受け、そのまま裴山鎮に至り、補修中の道を大揺れにゆれ、水溜りの深い所を歩いて渡るなどして着いた。

この地は、唐詩に詠まれている易水で知られ、漢族の古い歴史をもつが、清代には王陵の近くにあつて清朝の直轄支配が及んでいた。日中戦争では、興隆と同じく日本軍の作戦の的となり、抗日と併せて激戦地の一つとなった。

戦後56年、易県の人々は新しい歴史を興すために改革に熱心に取り組み、その担い手として、人間性豊かな、有用な人材を育成する努力をしている。私たちはここにも一粒の友情の種をまきたい

と考えている。この8月下旬 JCC及び八王子市教職員組合女性部の皆さんと共に訪れ、易県で奨学金を開設し、教育交流を行う予定である。

易県で訪問した学校の状況

東羅小学校

1970年建設の校舎は古くなり、隣接地に新築中。1年生から6年生まで在籍する完全小学校。在校生167人、教職員7人、教育の質は全県でも最先端にあるとのこと。張叙燕校長の話によれば、地域の人々の年収は約1,000元。小学生の教科書代30元、雑費25元。

東羅中学校

1991年建設の初級中学。在校生700名、教職員41名、12学級。物理、化学、生物など理科系の設備は基本的に整備。「徳、智、体、美、労」の全方位の人間教育を目指している。張立新校長の話では、高校（高級中学）へは40%、職業技術学校へは40%が進学し、女子の進学率のほうが高いとのこと。

職業技術学校（易県職業教育センターに所属）

在校生約2,000名、教職員152名で全寮制、農業、林業、車輛整備、簡易医術等13の専科を備え、実際の最も層の厚い経済的社会的活動の担い手を育成。個々の学生にとっての困難は寮での生活費（約300元）とのこと。

（文：久保田 博子 写真：井岡 今日子）



裴山鎮の街



東羅小学校

- 3月16日 330-A地区LC、寧夏・関橋小建設基金及び小中学生国際旅費として、252万円送金
- 3月17日 第19回事務局会議
- 3月23日 中国宋慶齡基金会第4期第1次理事会開催
：JCCとして祝電
黃華主席退任、胡啓立新主席就任
- 3月24日 チャリティー映画鑑賞会「あの子を探して」
：八王子市クリエイティブホール
- 4月14日 第20回事務局会議
- 4月19日～4月25日 330-A地区LCの招待で、中国宋慶齡基金会黃華主席・何理良理事夫妻、李寧秘書長、王丹丹副主任及び寧夏の小中学生と女教師等16名来日
：ライオンズクラブの寧夏教育支援に関わる行事
JCC協力
- 4月16日 JCC、東北農業大学幼児園園舎増設基金として200万円送金
- 4月20日 330-A地区LC、寧夏の小中学校建設基金として380万円送金
- 4月22日 “寧夏の小中学生と教師との交流の集い”
：ホテル・ラングウッド
- 5月12日 第21回事務局会議
：河北省山村教育支援奨学金設立について
JCC第1次訪中団について
- 5月31日 JCC、東北農業大学幼児園園舎増設基金として200万円送金
330-A地区LC、寧夏の小中学生に新華字典・中英英中辞典を寄贈——30万4000円送金
- 6月9日 第22回事務局会議：JCC第1次訪中団について
- 6月21日 330-A地区LC、寧夏・老庄小学校建設基金として140万円を送金
JCC、東北農業大学幼児園園舎増設基金として100万円送金
- 6月26日 330-A地区LC、寧夏・西吉女子中学建設基金250万円を送金
- 6月26日～7月5日 JCC第1次訪中団派遣
6/27東北農業大学幼児園園舎増設竣工視察
6/29吉林省奨学金協定書締結
7/2 河北省興隆県教育支援視察
7/4 河北省易県教育関係視察
- 7月21日 第23回事務局会議
：訪中団視察報告、河北省奨学金協定書審査検討及び「為了明天」第3号発行について
- 7月24日 LC奨学金40万円、代々木LC奨学金36万円送金
- 8月10日 「為了明天」第3号発行

寧夏回族自治区に

女子中学と小学校2校を建設支援
奨学金をプレゼント

330-A地区(東京)ライオンズクラブ 2000～2001年度事業

東京地区ライオンズクラブ(小坂哲郎ガバナー)は、長年に亘り中国の貧困地区とされ、いま西部地区開発5ヵ年計画の対象地域となっている寧夏回族自治区南部の西吉県に女子中学、固原県に老庄小学校、海原県に関橋小学校を建設支援、この6月初め、前記2校の竣工式に参加した。

なお、同ライオンズクラブは、今後、これら三つの小中学校の児童生徒延べ950名に、5年間に亘り、総額405万円の奨学金を給付することになっている。その実務は、京友会によって推進され、JCCが協力する。



老庄小学校竣工式

熱烈歓迎 寧夏朋友

4月22日、ホテルラングウッドにて東京330-A地区LC主催の、寧夏の女性教師・子ども達との交流会に、当会からは小学生2人を含む12人が参加。早大関係者も企画から熱心に取り組んでくれた。第一部交流会では、日中双方の挨拶に続き、ゲームとミニ討論会を行なった。これらの活動を通じて和やかな雰囲気の中、相互理解を深める事ができた。第二部では合唱やバイオリン演奏で盛り上がった。過密な日程にもかかわらず積極的に交流する寧夏の子ども達、日本の子ども達に優しく話しかける女性教師の表情がとても印象的だった。 五十嵐 祐紀子



“あの子を探して”チャリティー映画会は、今夏、映画の舞台、38万8千円の収益金がありました。 河北省に届けます。

3月24日、八王子で中国映画上映会を開催しました。650人の観客で会場は埋められ、カンパ金を含めて38万8千円の純収益を得ることができました。この成功は、中国語の諸先生、労働組合、生協、身障者グループ、子ども劇場、子ども文庫、その他大勢の方々が積極的に協力をして下さったお陰と、心よりお礼を申し上げます。

また、会場アンケートには、138人の方々が回答をよせて下さり、中国への関心、子どもたちの素朴さ、たくましさ、先生と児童の愛情に感動した等、貴重なご意見を頂き、私たちにとって嬉しい励みになりました。 荒川 富士子

編集
後記

落陽の広野にかかる大きな虹に迎えられたハルビン空港。長春から長白山脈を越えて吉林省の農村地方へ…。どこへ行っても、温かい歓迎を受け、心のこもった握手、握手! 国をこえて熱い友情が通い合う旅だった。きびしい日程をこなして、一同元気に帰国。休む間もなく、猛暑の中で、「為了明天」の編集校正にとり組んだ。残暑の折、皆様のご健康を祈りつつ……三浦 克子

「為了明天」No.3

題字：岡 尚
2001年8月10日発行 編集：三浦・井上
発行者：宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会
〒192-0081 東京都八王子市横山町20-8
TEL/FAX0426-46-4210
郵便振替：00170-2-152423
三和銀行八王子支店(普通)5182198